

飯島賢二の『恐縮ですが...一言コラム』

第99回 せめて「ピープルポイズン」には、なりたくない！

「あなたの存在そのものが不快なんだよ！」「お前さえいなければ、こんなに楽しいのに」...もし、あなたが陰でこんなこと言われている存在だとしたら、夢も希望もない。こんなタイプを昔は「粗大ゴミ」といった。昔の粗大ゴミは、ただ邪魔なだけ、ほのかで良かった。しかしそれが、異臭を発生し毒性を帯びた時、社会的危険物と認定され抹殺されていく。

それを最近の言葉で「ピープルポイズン」と言うらしい。他人に迷惑をかけ続け、本人は全く分かっていない。つまり、他人に平気でストレスを与える人のことを言う。

なるほど...そういえば...何となく思い浮かぶかもしれないが、それが「あなた」であったら大変である。ピープルポイズンか否か、心配な人は、以下の5つの項目をチェックして頂きたい。3つ以上当てはまる人、間違いなくピープルポイズン予備軍である。

自己中心的である

命令口調が多い

優柔不断である

冷たい態度をとる

愚痴が多い

親愛なるあなた、いかがかな？ 全て当てはまる人、会社にとっては全く不要な人物と言わざるを得ない。お客のニーズが分からない、自分で意思決定ができない、仲間と協調できない、優しさがなく男女共もてない、人の心が理解できないし、周辺の雰囲気を読めない。天然ボケで笑えるうちはまだいいが、もう、ここまで来たら、あなたの存在そのものが、会社をダメにする、その張本人である。

自分でも気付かないうちに回りに迷惑かけたり、迷惑かけられたりと、なるほど、人間関係は難しい。でも、難しいからこそ奥が深く、やり甲斐が出てくるものであろう。世の中益々複雑化し、効率化・画一化が推進され、氾濫する情報に振り回され、現代人の多くがストレスを背負いながら暮らしている。もう爆発寸前の中での毎日に、すぐ「切れて」しまう若者が多い。

どうしたらうまく人間関係を作れるのだろうか？ その為にもまず、自分自身を見直していただきたい。

「何でうまく人間関係を作る必要があるかって...？」 こんな愚問をしないで欲しい。人間である以上、残念ながら、自分ひとりで生きていけない。世の中自分を中心に回っていない。生活も、恋愛も、仕事も皆、人間同士の「営み」であるから、せめて「ピープルポイズン」にはなりたくない。あなたは、大丈夫???